

しぼうさいこうざ だい かい
いわき市防災講座 第24回

しょうがくせい ぼうさいこうざ ぜん かい
小学生の防災講座 (全3回)

だい かい
第2回

きけん よそく ひなん
「危険を予測し避難する」

さいがい おも
災害は思いがけず
やってくる



制作：いわき市危機管理部 災害対策課



だい かい
第2回

きけん よそく ひなん
「危険を予測し避難する」



みなさん、こんにちは、ぼうさいおじさんです。
今回は、小学生のぼうさいこうざの第2回「きけんをよそくし、ひなんする」です。





いわき市 防災マップ

平成27年4月
— 平地区 —

避難所

地震津波

河川洪水

このマップは、津波ハザードマップや洪水ハザードマップのほか、土砂災害警戒区域に関する情報などを地区ごとにまとめたものです。
※設置を中止するに限り、近隣の避難所や避難経路を把握しておくなど、お住まいの周辺について情報の確認等にお使いください。

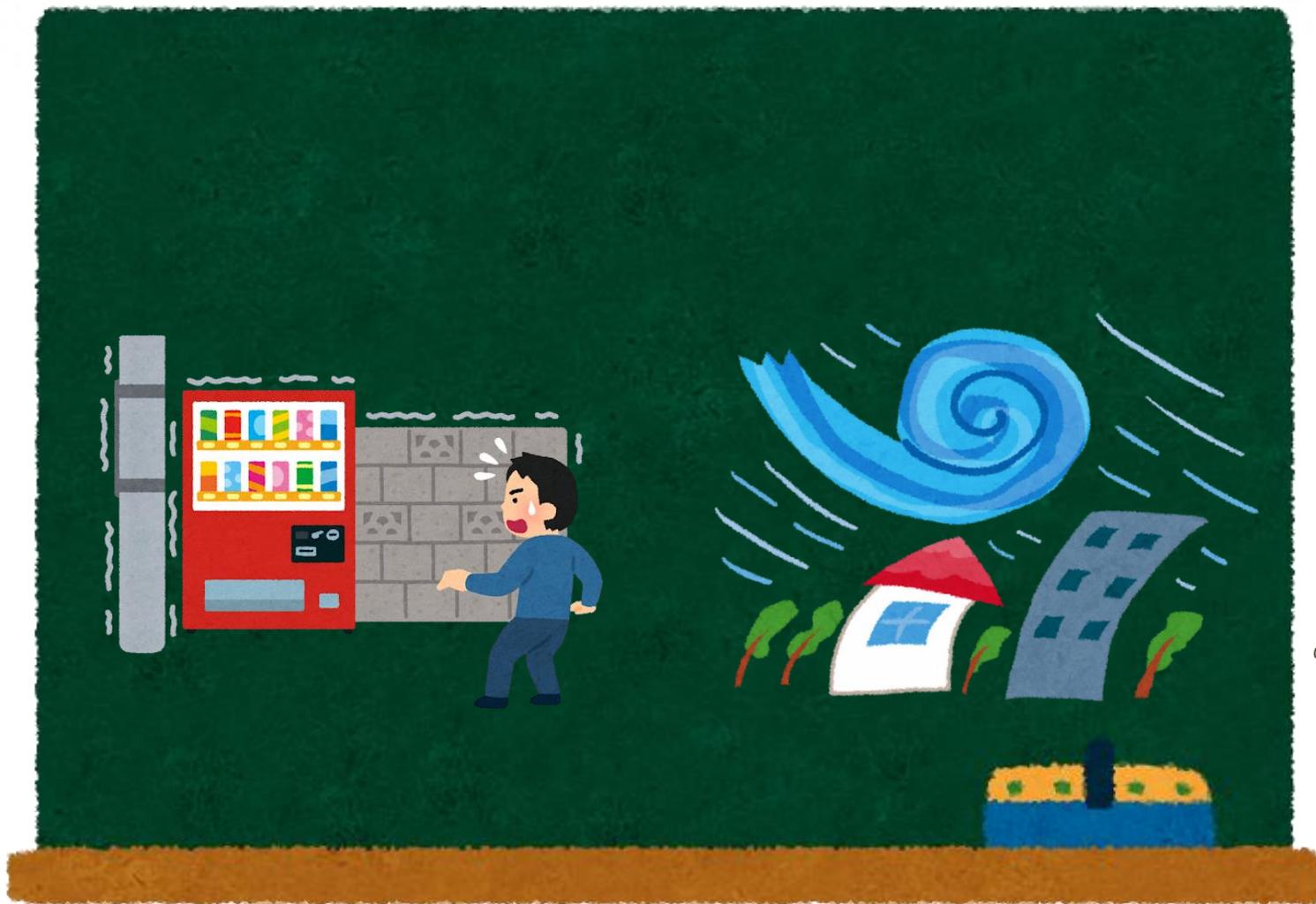
▼わが家の避難所

いわき市



きけんをよそくするには、第1回で話をしたぼうさいマップで、ひごろから自分たちのすむ場所のきけんを確認しておきます。



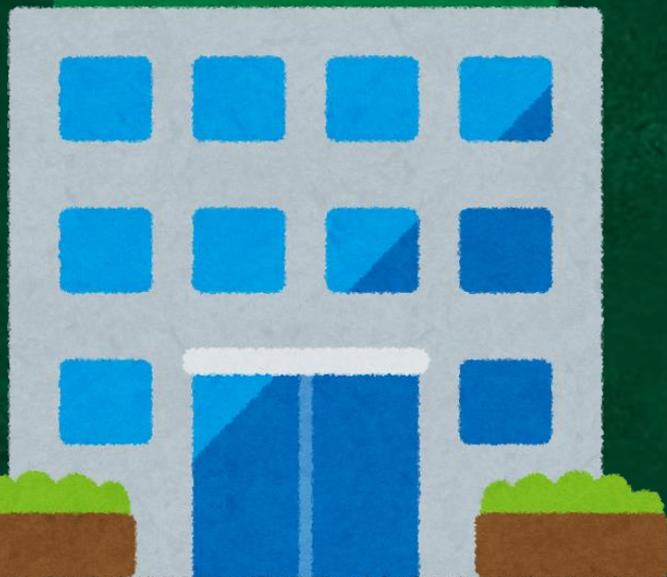


そして、じしんのはっせいや台風が近づいてきたら、気象じょう報などを集めることが必要です。





市役所



ひなんすることについては、市役所で気象じょう報などを集め、ひなんじょう報をはつ令します。





- きしょうじょうほう
• **気象情報**
ひなんじょうほう
• **避難情報**



今回は、気象じょう報とひなんじょう報の関けいをせつめいしますので、ちゅういすべき、ひなんじょう報を正しく、りかいしましょう。





つなみけいほう
津波警報と
ひなんしじ
避難指示



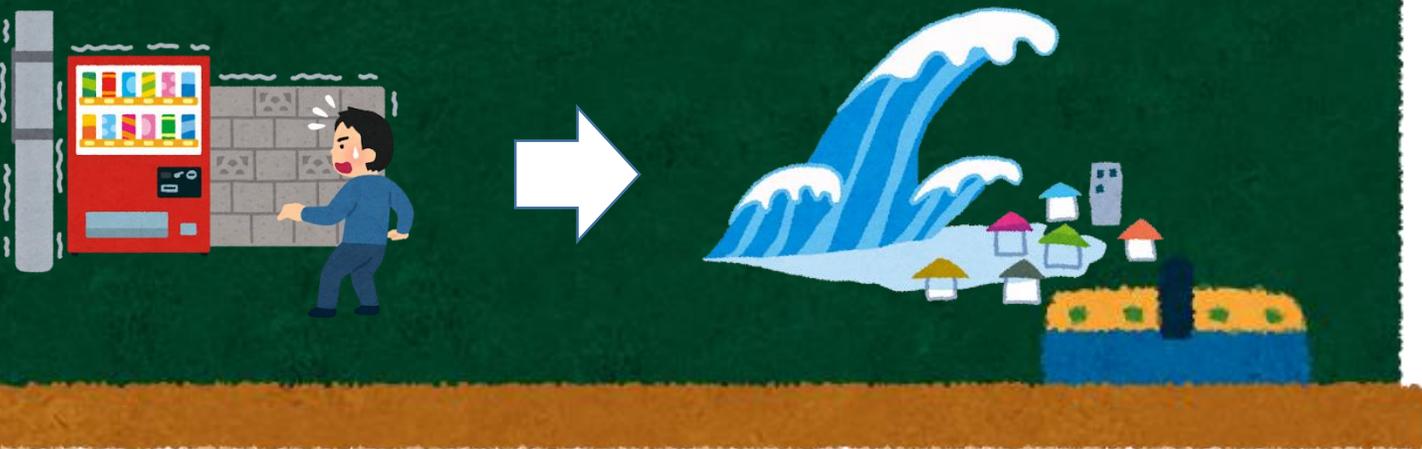
まずは、つなみに関するじょう報です。じしんの後に、つなみがはっせいすると命のきけんをおよぼす災害がはっせいします。





気象庁

- つなみちゅういほう
- ・津波注意報
- つなみけいほう
- ・津波警報
- だいつなみけいほう
- ・大津波警報

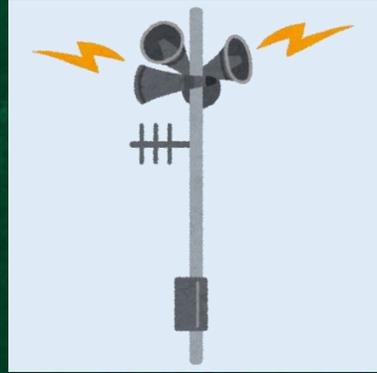


気象庁からは、じしんの後につなみが、はっ生することがよそうされる場合に、つなみちゅうい報、つなみけい報、大つなみけい報が、はっぴょうされます。





ひなんしじ
いわき市
・避難指示



市からは「ひなんしじ」のひなんじょう報をはつ令し、海岸ふきんのスピーカーから放送するので、つなみそうていしんすい区域にいる人は直ちに、高くがんじょうなたてもものや高台にひなんします。





気象庁

おおあめけいほう
大雨警報



どしゃさいがいけいかいじょうほう
土砂災害警戒情報



こうずいけいほう
洪水警報



大雨がふると気象庁からは、じゅうだいなどしゃ災害やしんすい害がはっせいするおそれがある場合に、大雨けい報がはっぴょうされます。

さらに、どしゃ災害のきけんが高まった場合には、どしゃ災害けいかいじょう報がはっぴょうされます。

また、かせんにおいては、川のぞうすいやはんらんにより、じゅうだいなこうずい害がはっせいするかのう性がある場合に、こうずいけい報がはっぴょうされます。





いわき市

こうれいしゃとうひなん

・ 高齢者等避難

ひなんしじ

・ 避難指示

きんきゅうあんぜんかくほ

・ 緊急安全確保



市からは、じょうきょうをはんだんし、高れいしゃ等ひなん、ひなんしじ、きんきゅう安全かく保をはつ令します。

高れいしゃ等ひなんやひなんしじのはつ令があれば、あらかじめ家族などと話し合っ、決めていたひなん先にひなんします。





いわき市

ちゅうい
注意!

きんきゅうあんぜんかくほ
緊急安全確保が
はつれい ばあい
発令された場合



自宅の少しでも
高い場所へ移動



近所の少しでも
高い建物に移動



崖から離れた部屋に移動

内閣府「避難情報に関するガイドラインの説明資料」より



きんきゅう安全かく保は、すでに災害がはっ生したかのう性が高い時に、はつ令されるじょう報です。

その場合、ひなん所へのい動などは、かえってきけんなので、いますぐとれる、命を守る最ぜんの方法をとりましょう。





※インターンシップで来庁した福島県立四倉高等学校の生徒に協力していただきました。

最ごに伝えたいことがあります





令和3年5月20日から
ひなんしじ
避難指示で必ず避難
ひなんかんこく
避難勧告は廃止です

警戒レベル 4

警戒レベル	新たな避難情報等
5	緊急安全確保※1
4	避難指示※2
3	高齢者等避難※3
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難することとなります。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。

避難勧告は廃止されます。これからは、警戒レベル4避難指示で避難してください。

避難に時間がかかると高齢者や障害のある人への配慮が必要です。

災害から我が子の命を守るために
来る(クル)のを目で確認

いわき市

得ることが守る第一歩
気付けるのはあなたです
原士/井田寛子

じしんはっせいからひなんじょう報までは、数分かかることがありますので、海の近くで大きなゆれを感じたら「すぐに逃げる！」ことが重ようです。
大雨の時も、ひなんじょう報をまたずに、早めのひなんができるように、家族で話し合っておきましょう。

